

あつい心で未来を創ります



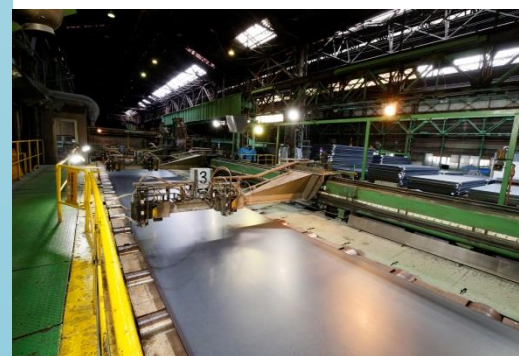
# 中部鋼鉄株式会社

証券コード：5461

## 個人投資家向け I R セミナー

2024年2月7日

取締役総務部長 松田 将



# 本日の内容

---

1. 中部鋼鉄の概要
2. 特色と強み
3. 成長戦略
4. サステナビリティ課題への取り組み
5. 業績・株主還元



# 1. 中部鋼鉄の概要

---

1. 中部鋼鉄の概要
2. 特色と強み
3. 成長戦略
4. サステナビリティ課題への取り組み
5. 業績・株主還元

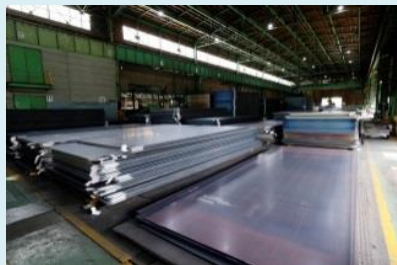
# 会社概要

社名	中部鋼鉄株式会社
業種	鉄鋼業（主に厚鋼板の製造販売）
設立年月日	1950年2月15日
本社所在地	愛知県名古屋市中川区小碓通5丁目1番地
資本金	59億700万円
代表者名	重松 久美男
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場 (証券コード 5461)
グループ会社	明德産業株式会社 シーケー商事株式会社 シーケーグリーンアド株式会社 シーケー物流株式会社
従業員数	504名（連結：2023年3月末）

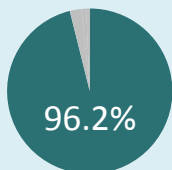
# 当社グループの事業概要

## 鉄鋼関連事業 (中部鋼鉄、シーケー商事)

- ・厚鋼板の製造販売
- ・鋼板の加工
- ・鉄鋼原料、製品の仕入・販売



2022年度  
売上高構成比

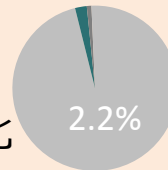


## エンジニアリング事業 (明德産業)

- ・鉄鋼設備を中心とした生産設備等の設計、制作、据付、メンテナンス

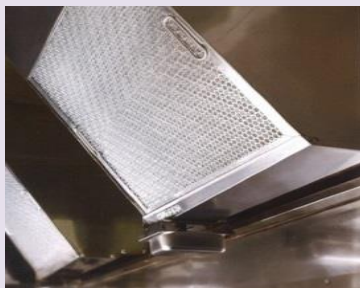


2022年度  
売上高構成比

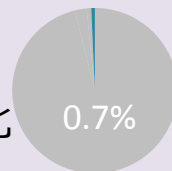


## レンタル事業 (シーケークリーンアド)

- ・厨房用グリスフィルターのレンタル
- ・広告看板の製作



2022年度  
売上高構成比

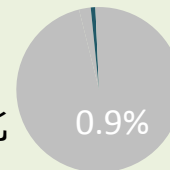


## 物流事業 (シーケー物流)

- ・危険物倉庫事業
- ・鋼板の荷役・運搬



2022年度  
売上高構成比







## 2. 特色と強み

---

1. 中部鋼鉄の概要
2. 特色と強み
3. 成長戦略
4. サステナビリティ課題への取り組み
5. 業績・株主還元

# 電炉法による環境にやさしい鉄づくり

	電炉法	高炉（転炉）法
イメージ		
主原料	鉄スクラップ	鉄鉱石・コークス
製造工程	電気炉で鉄スクラップを溶解	鉄鉱石をコークスで溶解・還元
特徴	設備は比較的小規模 環境に応じた 操業調整が容易	設備が大規模 長期間の継続稼働が前提
製品 1t 当たりの CO <sub>2</sub> 排出量 (t)	0.36 (当社の場合) (※一般的な電炉メーカーの CO <sub>2</sub> 排出量 = 高炉の約 4 分の 1)	2.00

電気炉による鉄づくりによって、CO<sub>2</sub>削減と循環型社会に貢献

# 鉄リサイクルで循環型社会に貢献





# 国内唯一の電炉厚板専門メーカーとしての強み①

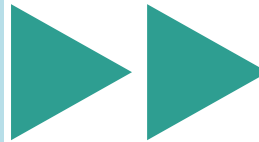
- ・効率的なレイアウトで省エネ操業を実現

コンパクトな工場レイアウトによる、製鋼－圧延－貫工程

## <製鋼工程>



鉄スクラップを電気炉で溶かし、成分調整後冷やして固めたスラブ（半製品）を作る工程



工程間のエネルギーロスが少ない  
**一貫工程**

## <圧延工程>



スラブ（半製品）を所定の寸法に延ばして厚板製品に仕上げる工程

- ・電炉の特性を活かした柔軟な生産形態

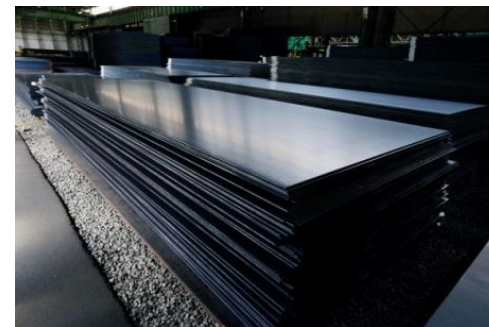
→多品種・小ロット・短納期生産を実現

# 国内唯一の電炉厚板専門メーカーとしての強み②

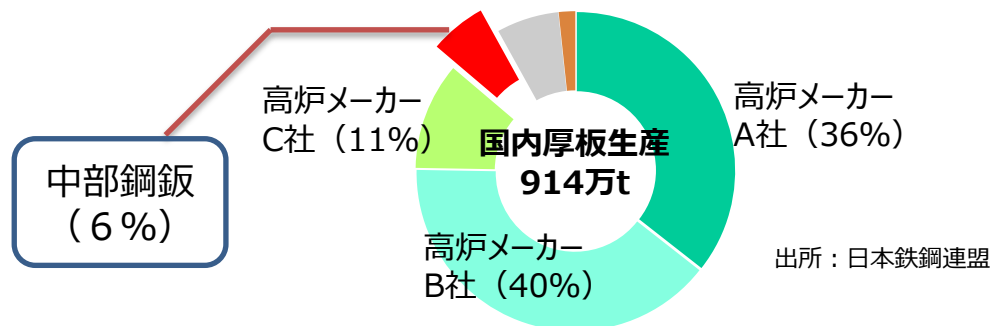
## 厚板製造における競争力発揮

### 厚板について

- 厚さ6mm以上の板状の鉄鋼製品
  - 船舶、建築、土木、産業機械などに使用される
  - 曲げ、切断、切削、溶接など様々な加工されるため、性能・品質に対する要求レベルが高い
- 製造メーカーは当社含む電炉3社と高炉3社のみ  
→当社は特に産業機械分野で高いシェア（30%程度）



### 2022年度 国内厚板生産シェア



### 当社の 厚板使用例



# 立地優位性による強み

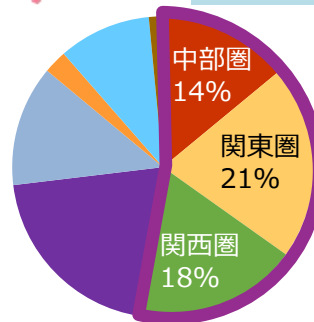
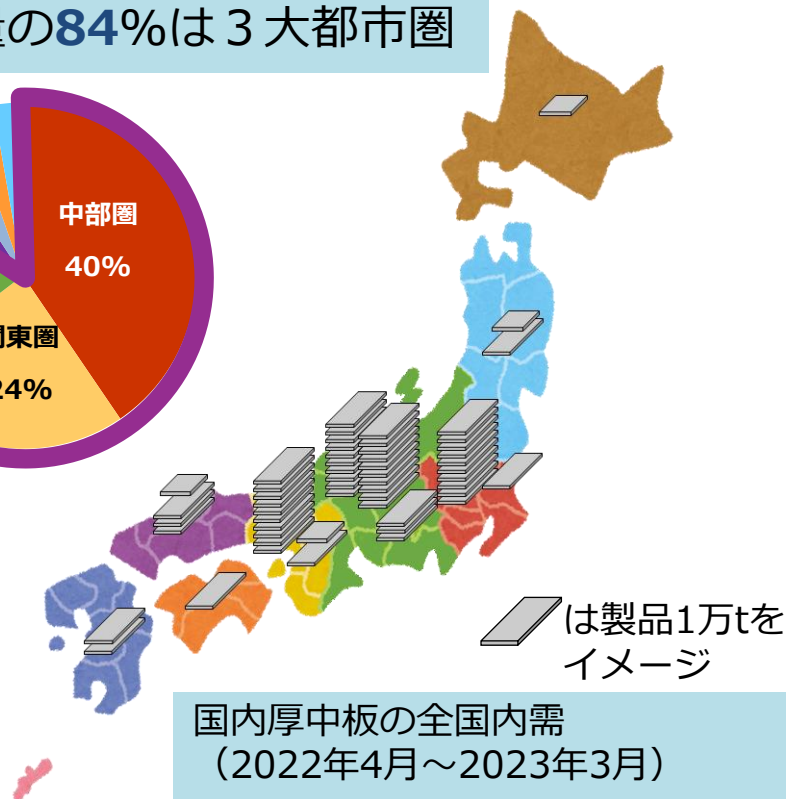
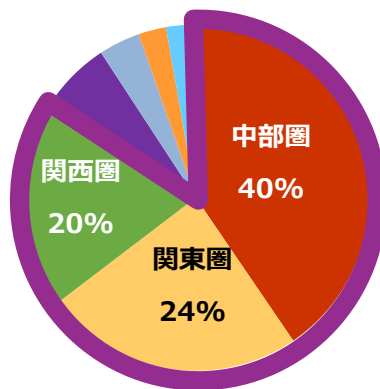


国内有数のモノづくり集積地である名古屋の市街地に立地

交通網・エネルギー供給などインフラも充実、鉄スクラップの調達・製品出荷に有利なポジション

## 2022年度 当社厚板 地域別出荷

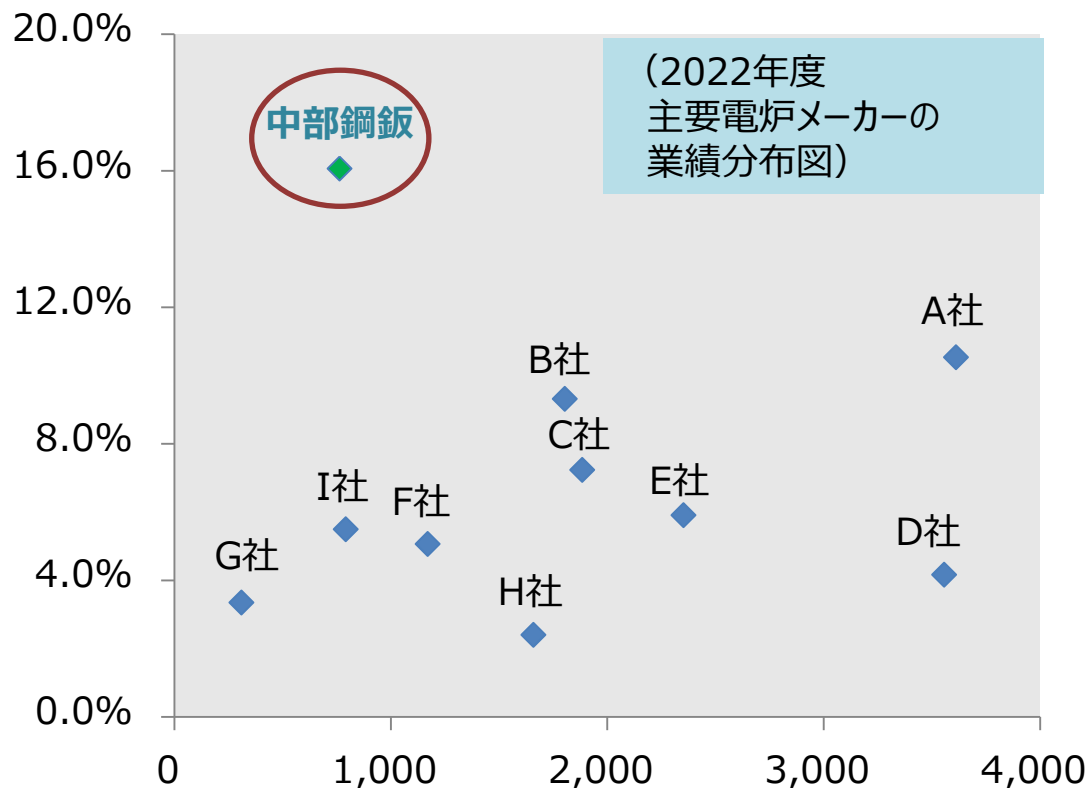
出荷量の**84%**は3大都市圏



全国需要の**53%**を3大都市圏が占めており、当社の立地優位性を十分に活かせる

# 電炉鉄鋼業界における当社の位置づけ

営業利益率 (%)



→コスト競争力と  
高い付加価値の  
確保により、  
電炉鉄鋼業界で  
営業利益率NO1

出所：  
各社開示データに基づき  
当社作成

売上高 (億円)

主要電炉メーカーの主な取扱製品

中部 鋼鉄	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社
厚板	棒鋼 形鋼 薄板 厚板	形鋼	棒鋼 薄板 厚板	棒鋼 形鋼	棒鋼 形鋼	棒鋼 形鋼	棒鋼 形鋼	棒鋼 形鋼	棒鋼



## 3. 成長戦略

---

1. 中部鋼鈹の概要
2. 特色と強み
3. 成長戦略
4. サステナビリティ課題への取り組み
5. 業績・株主還元

# 当社の成長戦略イメージ

## 当社を取り巻く経営環境

・国内人口の減少、  
国内製造業の成熟懸念

・カーボンニュートラルへ向けた  
社会の変化  
→CO<sub>2</sub>排出量の少ない  
電炉鋼材需要増加

・国土強靱化対策・  
インフラ維持のための  
継続的な鉄鋼需要

## 今後の成長戦略

市場シェア  
の拡大

脱炭素への貢献、  
地域的優位性を活かす  
↓  
建材向け営業強化

生産能力  
向上

新電気炉導入  
戦略的設備投資

粗鋼生産量

目 標

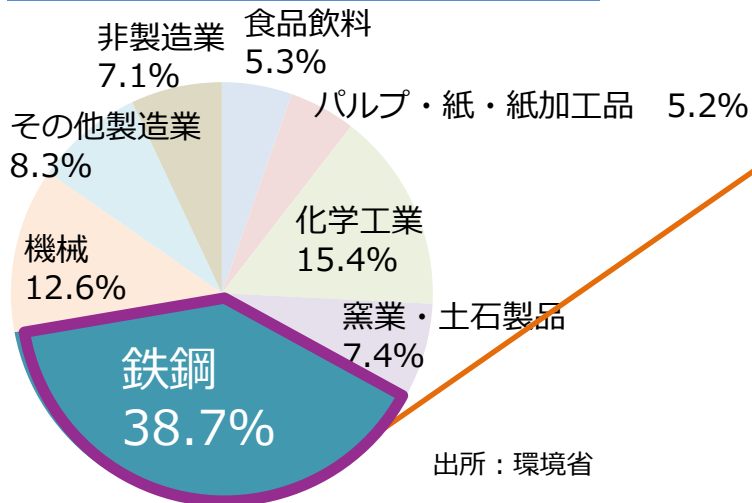
2022年度  
60万 t

2026年度  
約80万 t

2030年度  
約100万 t

# 脱炭素社会への貢献

## <業種別CO<sub>2</sub>排出量の割合>



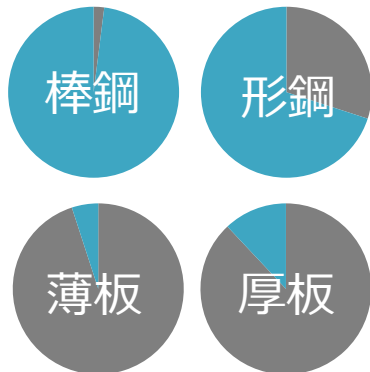
国内産業におけるCO<sub>2</sub>排出量  
⇒鉄鋼業が約40%（最多）

鉄鋼業でのCO<sub>2</sub>排出量削減は、  
カーボンニュートラル社会  
達成のための社会的責務

## 国内鉄鋼業の現状



品種別  
● 高炉  
● 電炉



- ✓ 粗鋼生産量の約4分の3を高炉が占める
- ✓ 電炉のCO<sub>2</sub>排出量は高炉の約4分の1
- ✓ 鋼板類における高炉比率が9割超と非常に高く、電炉比率の向上余地大

⇒脱炭素につながる当社の電炉厚板シェアを拡大すること・設備投資を行うことが、  
持続的な当社成長と社会課題の解決につながる

# 厚板市場の環境と当社の地域的優位性

## 当社の地域的優位性を活かしたシェア拡大

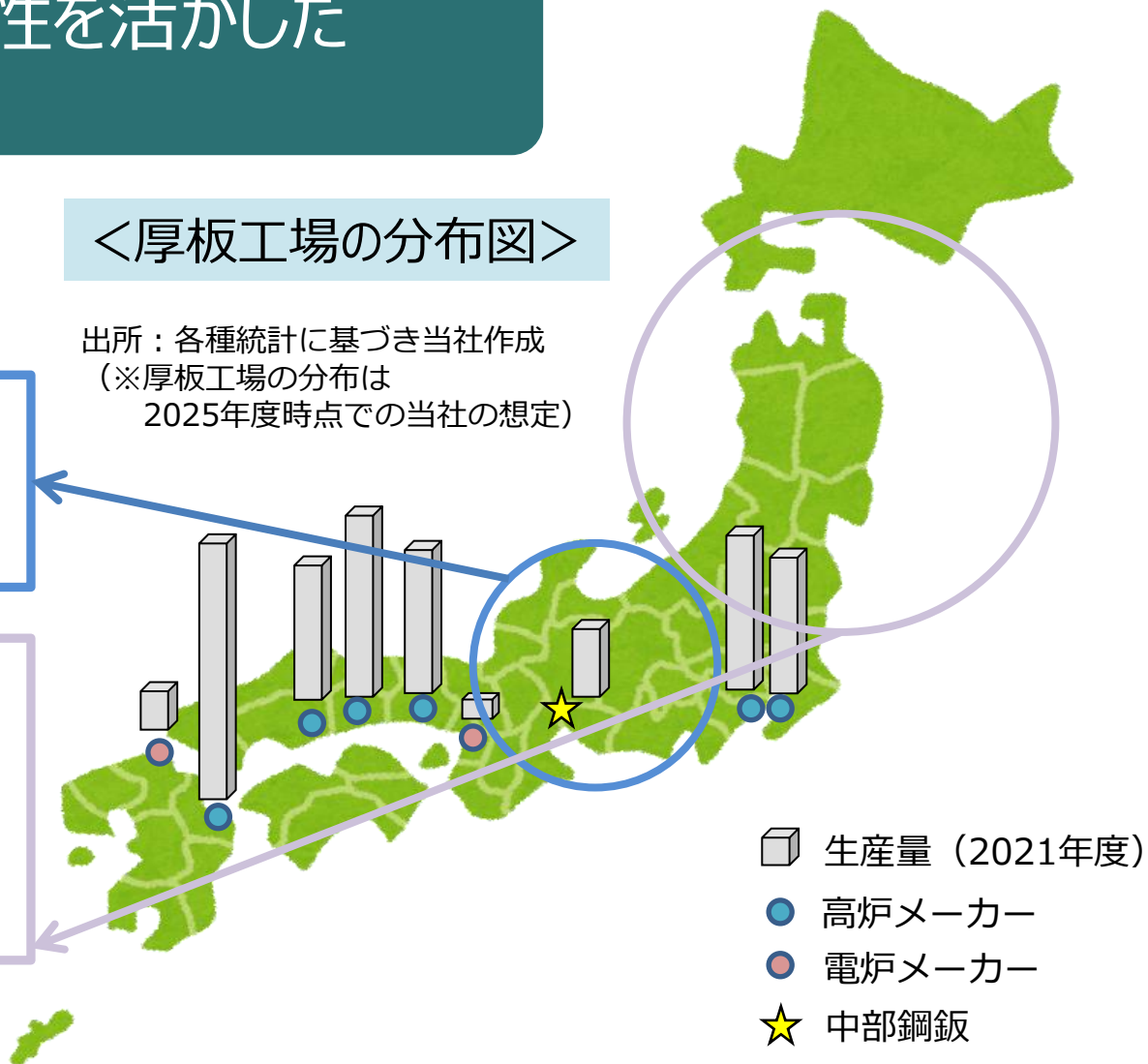
・高炉メーカーの  
生産集約による影響

・中部エリア  
→当社が**唯一**の厚板工場に  
⇒**地元シェア拡大**の機会増

・東日本エリア  
→**代替需要**の発生  
⇒**コスト・デリバリー**面での  
当社の優位性発揮

### <厚板工場の分布図>

出所：各種統計に基づき当社作成  
(※厚板工場の分布は  
2025年度時点での当社の想定)

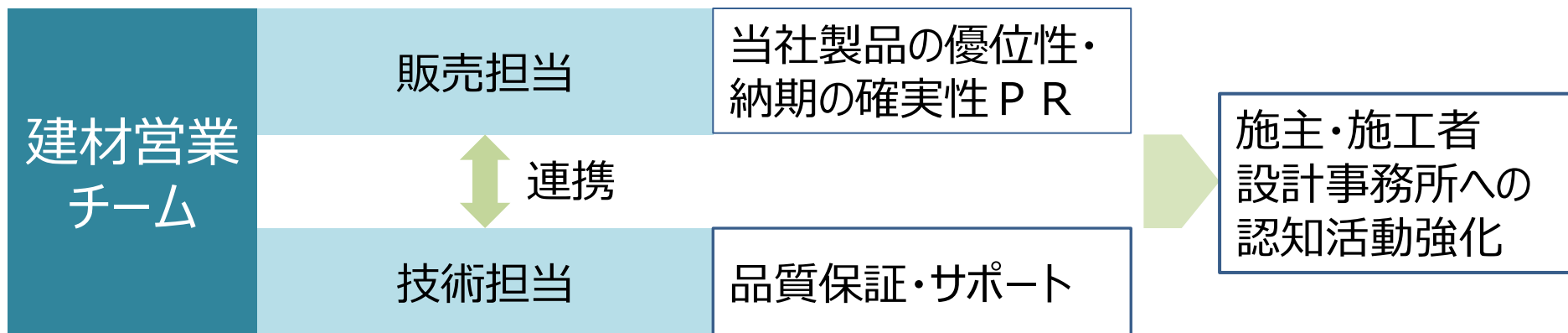




# シェア拡大に向けた営業力強化

## 「建材営業チーム」の立ち上げ

- ・施主、施工者（ゼネコン）、設計事務所などのユーザーに対する営業力を強化



## 「デリバリーサポートセンター（DSC）」の立ち上げ

- ・営業スタッフが行っていた納期管理を一元化  
⇒きめ細やかな進捗管理と効率的な生産・出荷体制構築
- ・お客様が希望する納期への対応力を更に強化

# 電炉鋼材指定拡大の動き

脱炭素ニーズを背景に、  
ビルの柱・梁向けに当社鋼材を指定する動きが顕在化

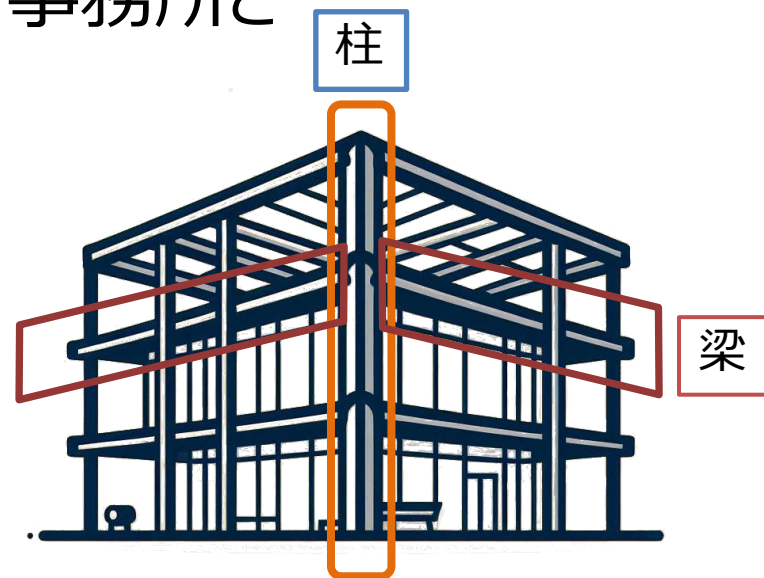
⇒施主、施工者（ゼネコン）、設計事務所と  
幅広いユーザーから指定

## 受注済案件の一例

地区	指定者	用途
四国	施工者、設計事務所	柱、梁
東京	施主	柱

## 検討中案件の一例

地区	指定者	用途
神奈川	設計事務所	柱、梁
東京	施主、施工者、設計事務所	柱、梁
大阪	施工者、設計事務所	梁



# 戦略的設備投資

## ・生産能力を向上させるための投資を計画・推進

### 目的・狙い

- ・生産性向上
- ・省エネルギー・脱炭素への貢献
- ・粉塵・騒音の低減

- ・鉄スクラップ（原材料）在庫確保による生産促進
- ・利益の安定化

- ・生産量拡大

- ・生産性向上
- ・省人化・省力化

### 投資内容

- ①最新鋭電気炉への更新  
(2024年秋稼働～)

**投資規模：**  
**77億円**

- ②スクラップヤード拡張

**投資規模：**  
**30億円**

- ③CC（連続鑄造機）能力向上

**投資規模：**  
**30億円**

- ④圧延工程の合理化

**投資規模：**  
**30億円**

# 最新鋭・環境対応型高効率電気炉への更新

循環型社会への貢献、競争力の強化、  
都市型製鉄所として周辺環境に対する負荷低減を図るため、  
最新鋭の新電気炉に更新

## 既設電気炉による操業風景



### <連続装入によるエネルギーロス低減>

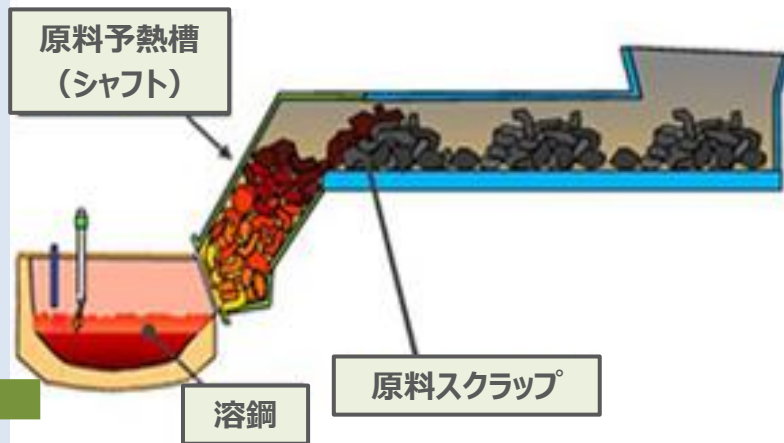
排熱を鉄スクラップの予熱に利用し、  
既存より高い温度で鉄スクラップを  
連続装入しつつ、短時間で溶解可能

生産性・歩留の向上による  
資源の有効活用とコスト競争力強化

⇒既設電気炉に比べ電力使用量（トン当たり） **▲15%**

## 新電気炉の特長

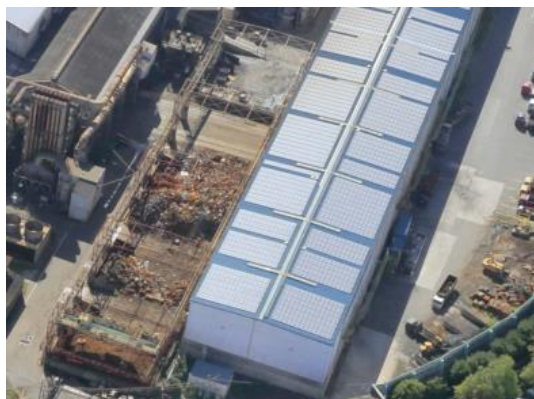
### ECOARC-FIT™



密閉した状態での  
操業により、  
騒音・粉じんの  
**発生低減**

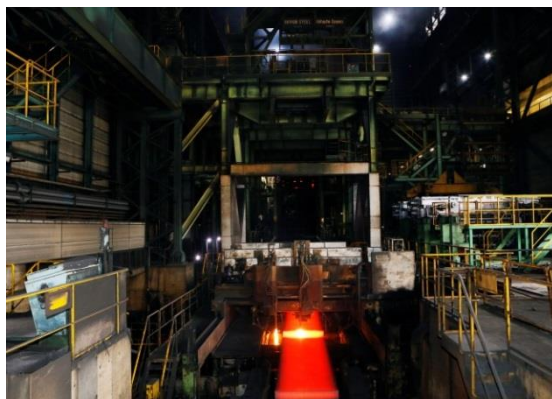
# 生産拡大に向けた各種投資

## スクラップヤード拡張



- ・屋外スクラップ保管場を拡張・建屋化  
⇒スクラップ貯蔵拡大による生産増とコスト安定化
- ・騒音の抑制

## CC (連続鋳造機) 能力向上



- ・溶鋼の冷却能力向上  
⇒鋳造速度の向上による生産増

## 圧延工程の合理化



- ・検査工程(製品の厚み・幅・平坦度の測定)の自動化
- ・製品管理工程での省人化  
(クレーン・矯正機の遠隔操作、作業統合)



## 4. サステナビリティ 課題への取り組み

---

1. 中部鋼鉄の概要
2. 特色と強み
3. 成長戦略
4. サステナビリティ課題への  
取り組み
5. 業績・株主還元

# 環境課題への取り組みの全体像

## 環境負荷低減への取り組み

### 環境負荷物質の管理・低減

- ・大気汚染物質の排出量低減
- ・水質汚染対策
- ・工業用水の使用量削減

### 製造工程で発生する副産物の ゼロエミッション化

- ・副産物排出量の減量化、リサイクル化



2022年度副産物  
リサイクル率  
100%

(副産物を利用したリサイクル事例)

## 脱炭素社会に向けた取り組み

- ・ CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた**ロードマップ**の策定と実行
- ・省エネ投資促進に向けた、**社内炭素価格制度**の導入
- ・脱炭素・環境関連取り組みに関する**情報開示の拡充**  
(スコープ1～3の排出量開示、TCFD提言に基づく情報開示)
- ・官・民イニシアティブ (GXリーグ、気候変動イニシアティブ) **参画**



# CO<sub>2</sub>排出量削減に向けたロードマップ

2021年

<2013年度比CO<sub>2</sub>排出量>

実績：11.3%削減

2030年

<2013年度比CO<sub>2</sub>排出量>

目標：46%削減



2050年

目標：  
排出量実質ゼロ

## 取り組み項目

省エネ推進

- 環境対応型高効率電気炉への更新
- 加熱炉装入温度改善

既存製造プロセス  
見直し

- 電気炉における加炭材、補助燃料投入量の削減

低炭素燃料活用

- メタネーション・CO<sub>2</sub>フリー燃料、水素などへ転換
- 構内重機の電動化及び電気自動車へ転換

再生可能  
エネルギー活用

- 太陽光発電の増設
- 排熱発電の検討・導入



# 人的資本投資の拡大

優秀な人材の確保と多様な人材が活躍できる施策を展開

## 人材マネジメント基本方針

チャレンジし、  
最後までやり遂げる文化を醸成する

組織への貢献に対し、  
フェアな評価と処遇で報いる

能力開発を重視し、  
価値創造型人材を育成する

多様な人材が  
生き活きと活躍できる環境を整備する



## 人的資本投資の施策展開

### 人事制度の改革

- ・成長と貢献を処遇に反映
- ・有能な人材の早期登用
- ・賞与のインセンティブ引上げ

### ウェルビーイング向上

- ・人員配置の余裕度向上
- ・総労働時間短縮
- ・健康経営

・ダイバーシティ推進

・コミュニケーション活性化

・人材育成



## 5. 業績・株主還元

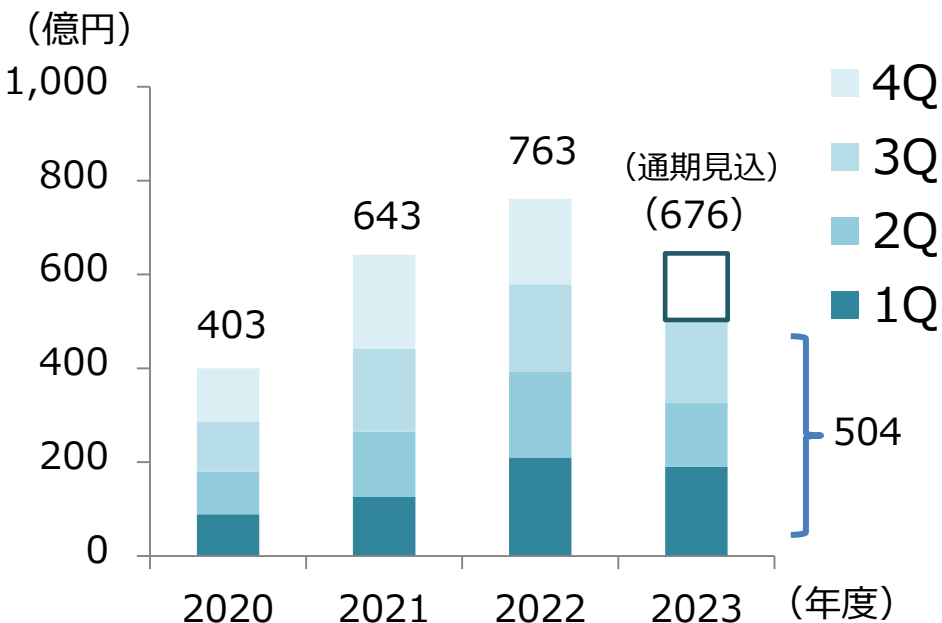
---

1. 中部鋼鉄の概要
2. 特色と強み
3. 成長戦略
4. サステナビリティ課題への取り組み
5. 業績・株主還元

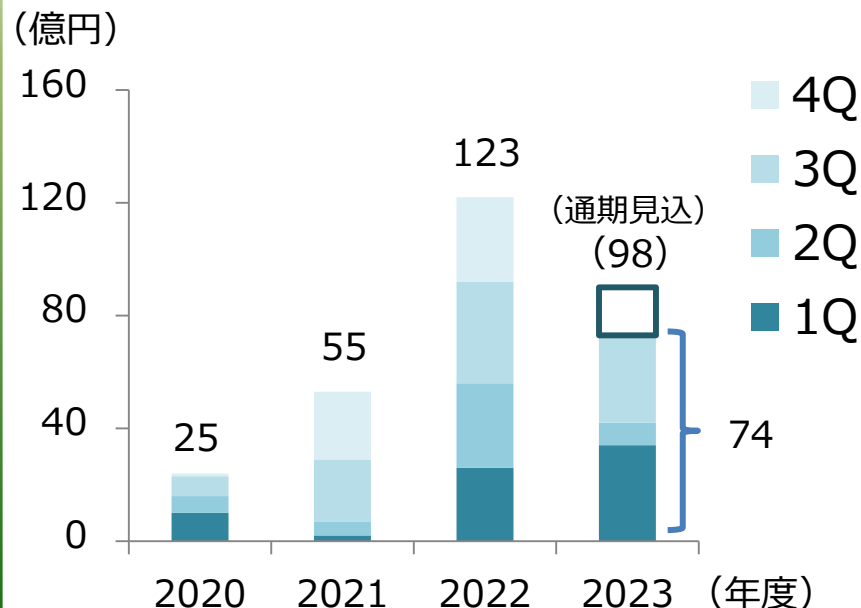


# 連結経営実績推移と今期見通し

## 連結売上高



## 連結経常利益



### 【3Q実績】

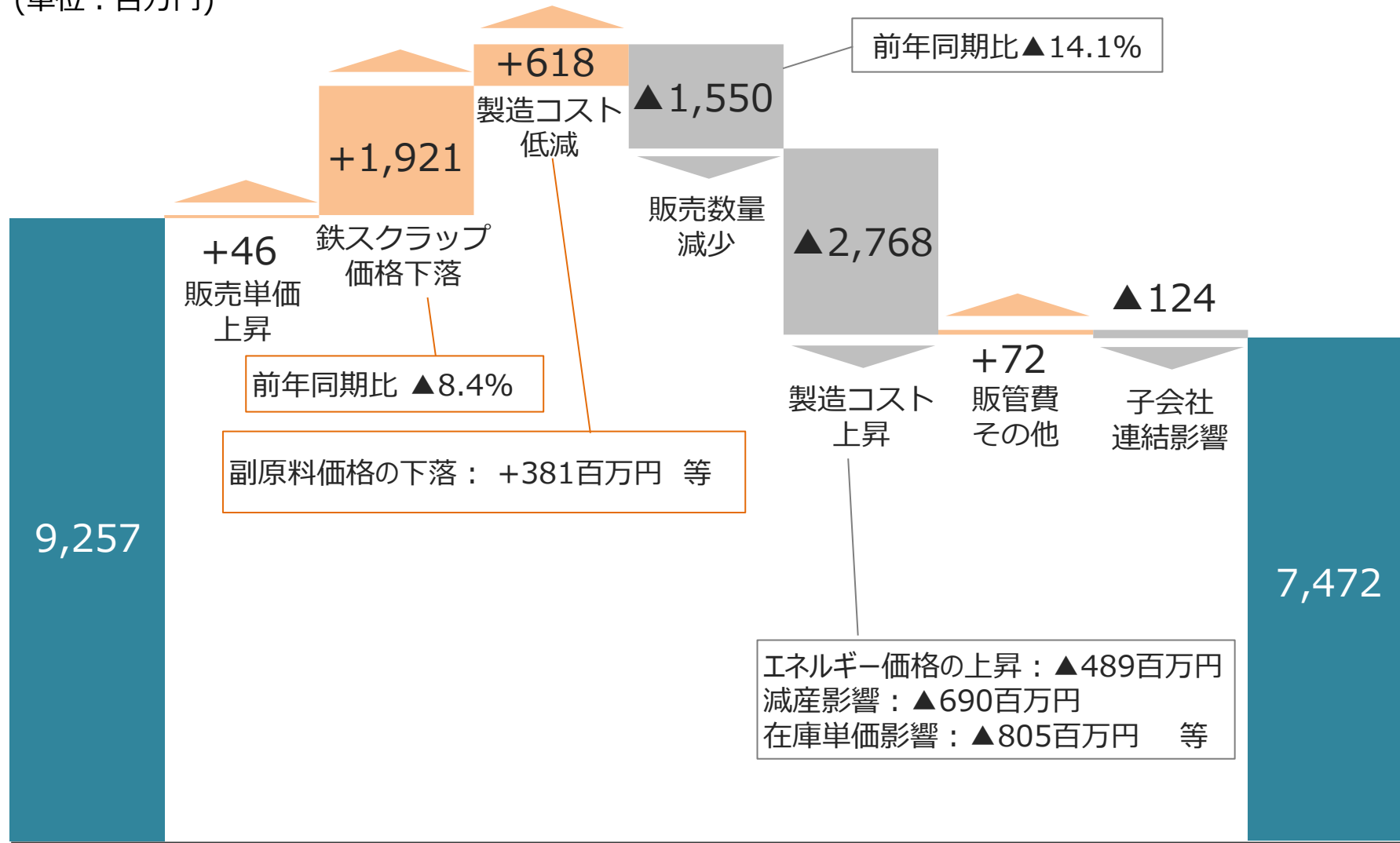
- ・販売価格は高水準を維持したものの、海外経済の停滞による影響や、人手不足による工期遅延等による需要減等により販売量減少し**減収**

### 【3Q実績】

- ・主原料である鉄スクラップは前年同期比で下落した一方、販売数量の減少、エネルギー価格の上昇及び大型設備工事に伴う減産影響等により**減益**

# 経常利益増減要因

(単位：百万円)

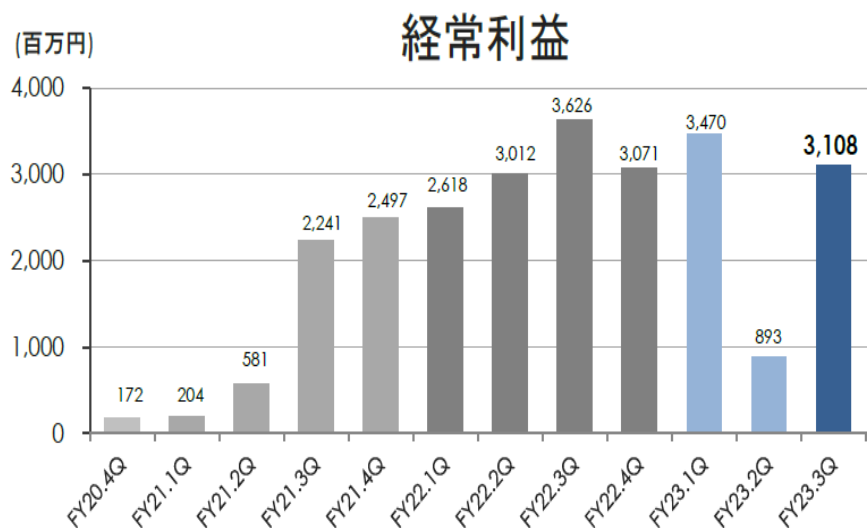
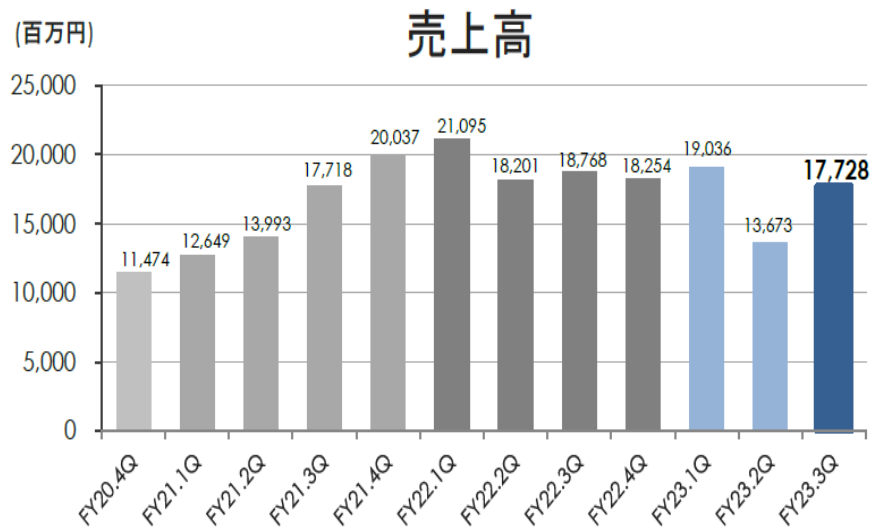


2022年度 3Q  
連結経常利益

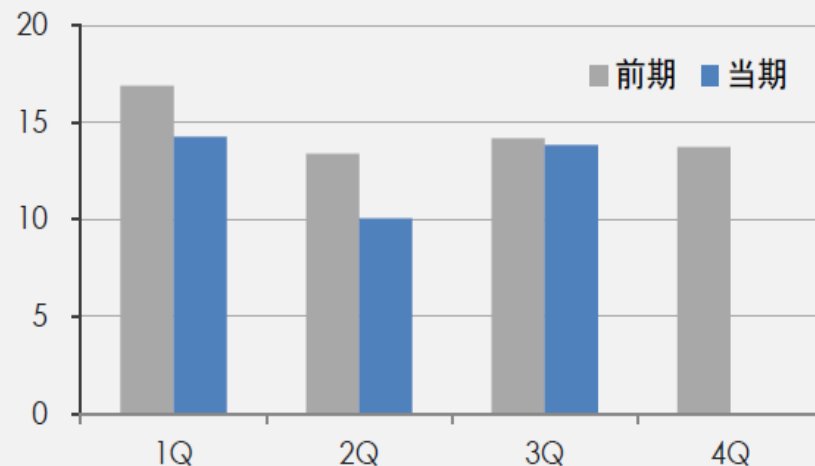
2023年度 3Q  
連結経常利益



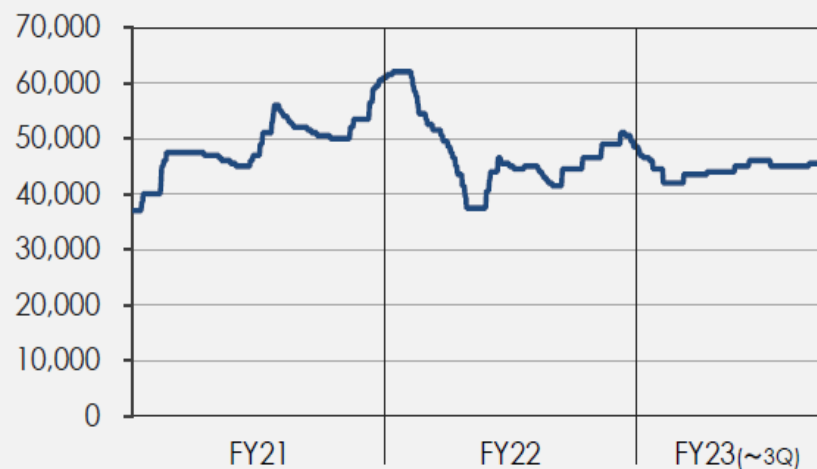
# 四半期業績関連データ



### 鉄鋼製品販売数量(万吨)



### 鉄スクラップ価格推移(H2建値:円/トン)



# 株主還元向上の取り組み

## 配当方針の見直し

- ・従来の配当方針をより具体化し、以下いずれかのうち大きい方を目途に配当を実施する方針に

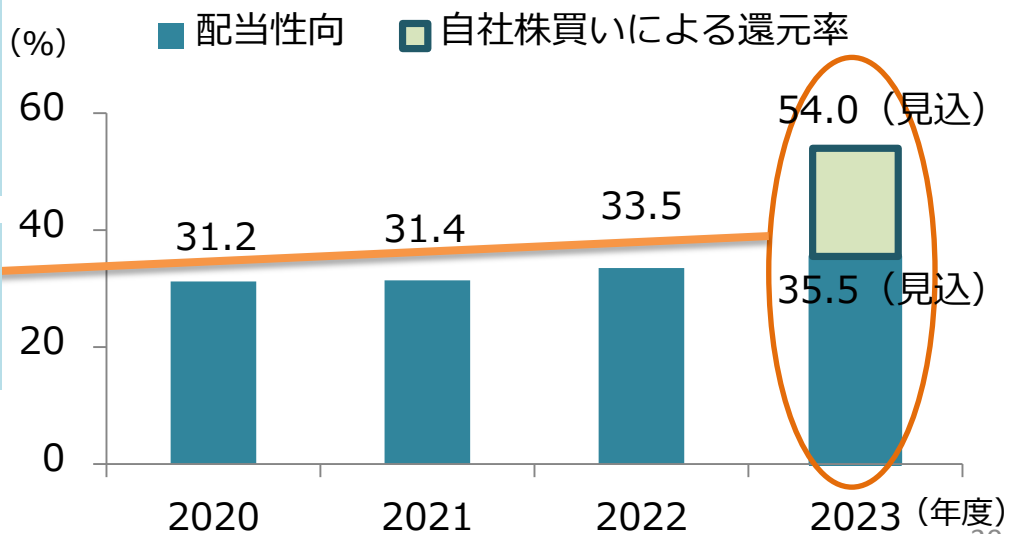
＜安定的な配当の実施＞  
60円／株

＜業績に見合った弾力的な配当＞  
配当性向 35%

## 自社株買いの実施（2023/11/2～2024/4/30）

- ・株主還元の強化と資本効率の向上などを目的として実施  
実施額： **13億円**（上限）

今年度総還元性向： **54%**（見込み）

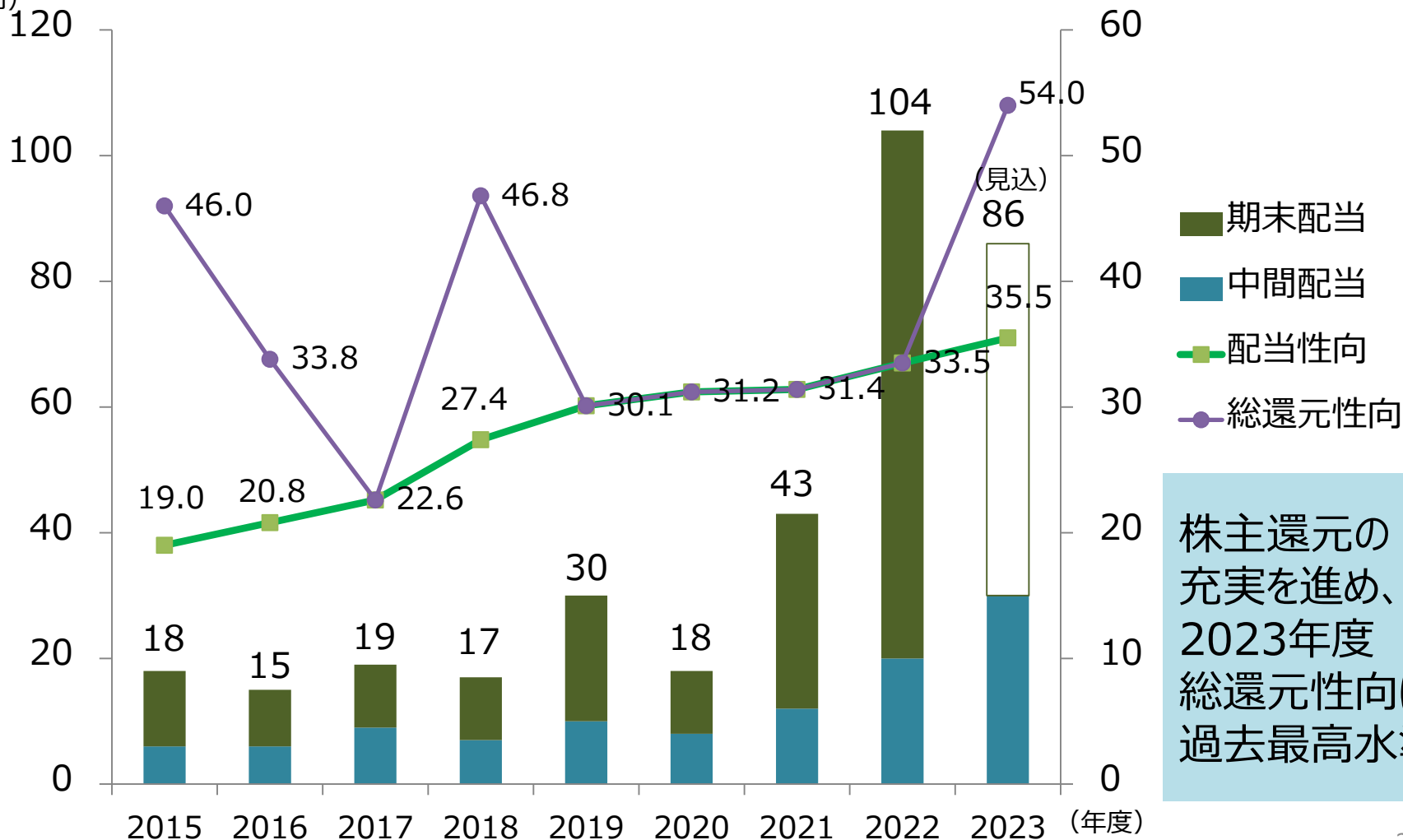


# 配当実績

## 配当実績・配当性向・総還元性向推移

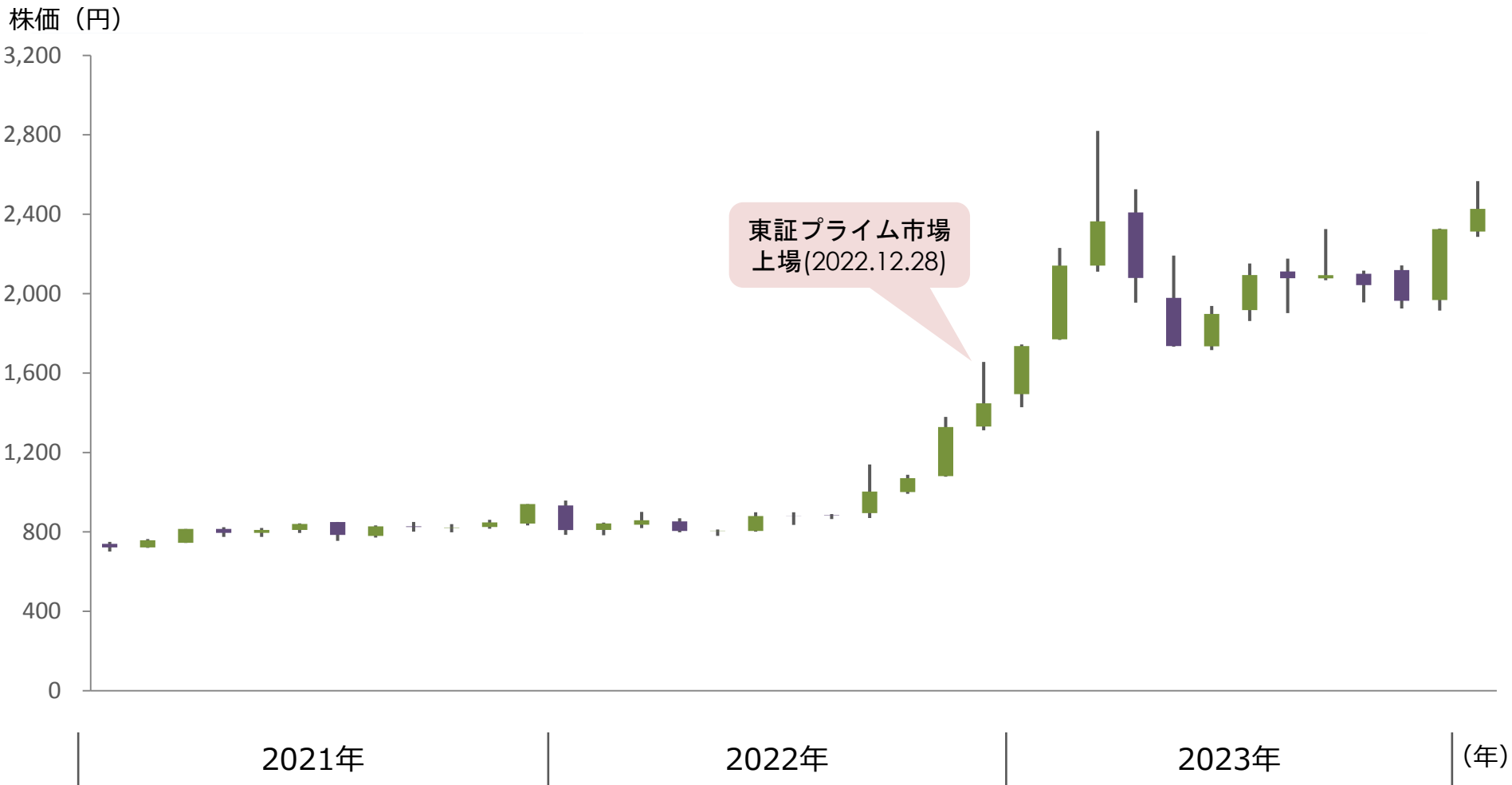
1株当たり配当金額  
(円)

配当性向・総還元性向 (%)



株主還元の  
充実を進め、  
2023年度  
総還元性向は  
過去最高水準に

# 株価推移

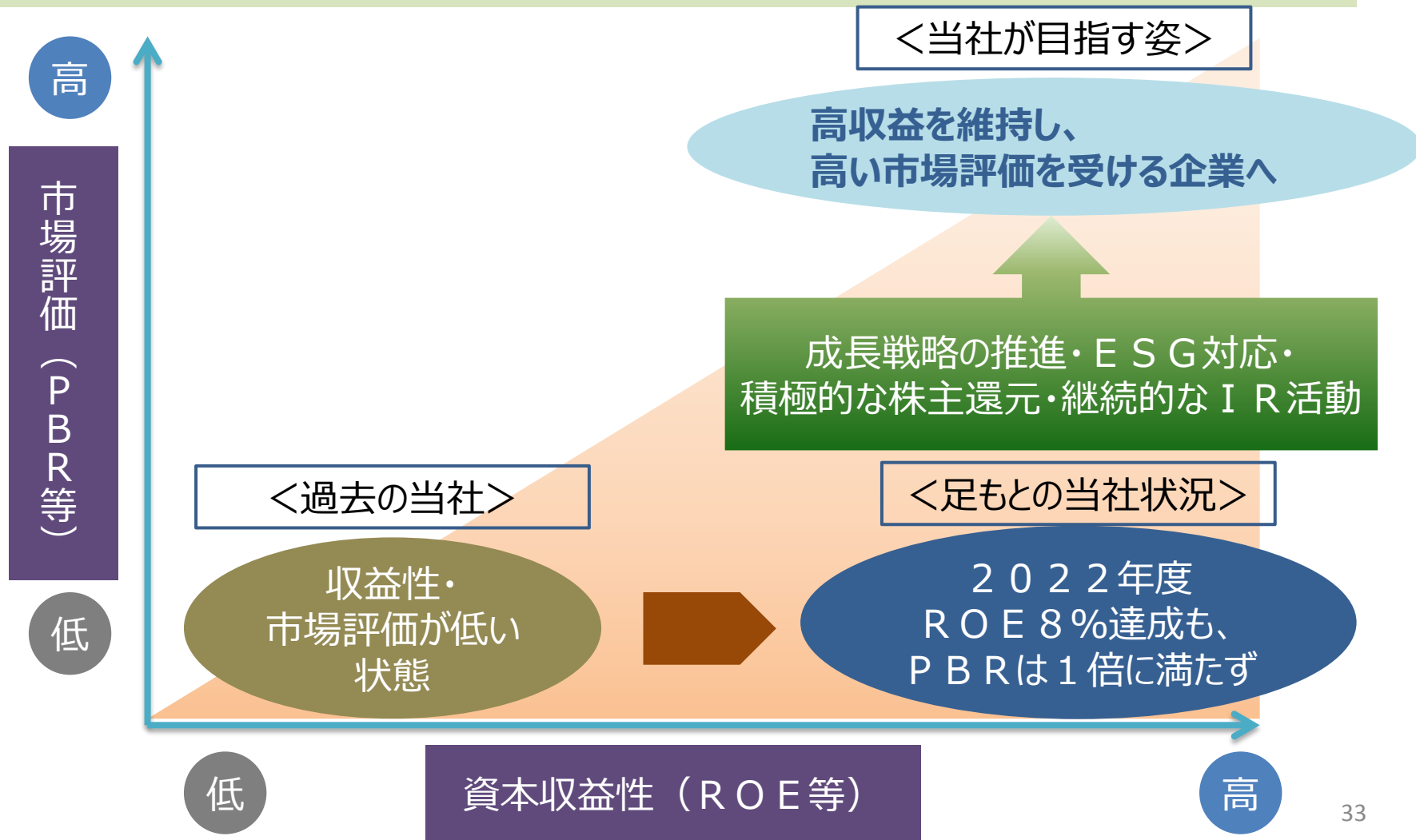


株価 (2/6終値)	最低購入金額	2023年度 通期配当予想	予想配当利回り
2,389円	238,900円	86円	3.60%



# 資本コスト・株価を意識した取り組み

安定的なROE達成（8%以上）とPBR1倍超を目指し、成長戦略等を果敢に実行



# あついい心で未来をつくります

<https://www.chubukohan.co.jp>

中部鋼板

検索 



Copyright © 2024 Chubu Steel Plate Co., Ltd.

本資料の無断転載・Webサイトへのアップロード等のご遠慮願います。

## 本資料お取扱い上のご注意

---

本資料に含まれる将来の計画値、予測値等は説明会の時点で入手できる情報に基づいて判断したものであり、不確定要素を含んでおります。実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

したがって、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますよう、お願いいたします。また本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。